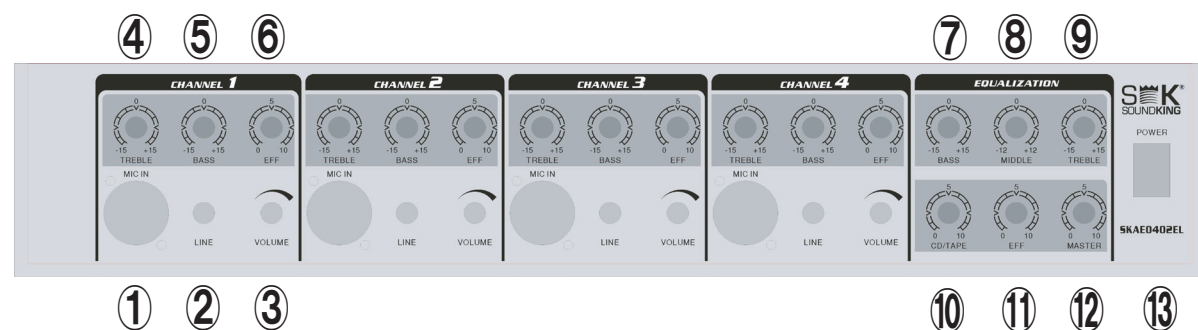


この度は、当社製品をお買上げ下さいまして誠にありがとうございます。
この製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

フロントパネルの機能



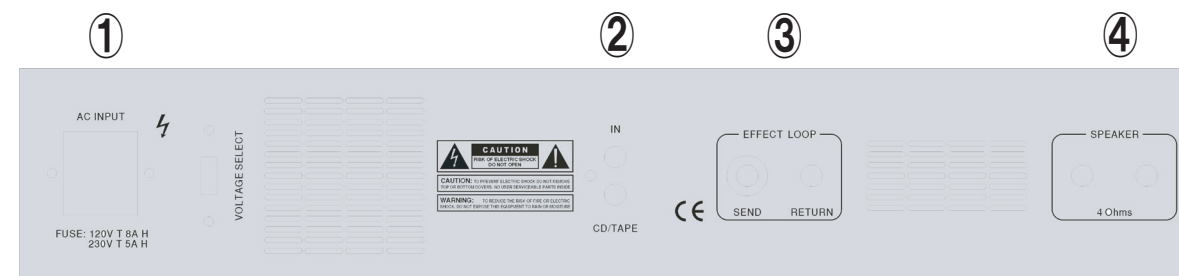
[各チャンネル]
本機器は、4つの入力チャンネルを持っており、それぞれの機能は共通しています。

- ①[MIC] バランス入力:XLR(3ピン)端子のローインピーダンスマイクロフォン用入力端子です。
- ②[LINE] アンバランス・ライン入力:1/2"Phone端子のハイインピーダンスマイクロフォン及びテーププレイヤーやCDプレイヤー等のラインレベルの機器の為の入力端子です。
- ③[VOLUME] ボリュームコントロール:チャンネルごとの音量を調整します。ここで設定した後、マスターボリュームで最終設定します。このボリュームで各チャンネルのバランス調整を行ってください。
- ④[TREBLE] トーンコントロール(高音):チャンネルごとの音色(高音)を調整します。
- ⑤[BASS] トーンコントロール(低音):チャンネルごとの音色(低音)を調整します。
◎ +/-15デシベルで調整しますが、上げ過ぎるとハウリングの原因にもなりますのでご注意ください。
- ⑥[EFF] エフェクターコントロール:チャンネルごとのディレイレベルを調整します。このEFFで各チャンネルの効き具合のバランス調整を行ってください。

[マスター部]
各チャンネルで調整した後の、全体的なコントロールを行います。

- ⑦[BASS] マスター/BASS:最終的な低音を調整します。
- ⑧[MIDDLE] マスター/MIDDLE:最終的な中音を調整します。
- ⑨[TREBLE] マスター/TREBLE:最終的な高音を調整します。
- ⑩[CD/TAPE] CD/TAPEボリューム:リアパネルのRCA(ピン)端子に接続された機器のボリュームを調整します。
- ⑪[EFF] マスター/EFF:最終的な全体のディレイレベルを調整します。
- ⑫[MASTER] マスターボリューム:最終の全体音量を調整します。もし音が歪むようであれば、各チャンネルのレベルを下げてください。
- ⑬[POWER] 電源スイッチ:本機器の電源のON/OFFを行います。

バックパネルの機能



- ①[AC INPUT] 電源ケーブル:電源ケーブルを100V(ボルト)のコンセントに接続します。
- ②[CD/TAPE] CD/TAPEインプット:RCAケーブルにて、テーププレイヤーやCDプレイヤー等を接続します。
- ③[EFFECT LOOP] エフェクトループ:《SEND》外部機器へラインレベルで出力します。
《RETURN》外部機器にてエフェクトされた音をラインレベルで入力します。
- ④[SPEAKER] スピーカー出力:スピーカーを付属のスピーカーケーブルにて接続します。
スピーカーを接続しない状態で使用しないで下さい。故障の原因となります。

本製品の使用に関して、以下の指示を必ず守ってください。

注意/警告

- 本機器を分解したり、改造したりしないで下さい。
- パネルやカバーをはずさないで下さい。
- 電源コードを接続した状態や、電源コードを抜いたすぐ後(特に作動直後)に内部に手を入れたり異物を入れたりしないで下さい。
※製品内部の高電圧な部分で感電します。
※高温になっている部分で火傷等、傷害の原因となります。
- 電源プラグは必ず指定された電圧の電源コンセントに差し込んでください。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。
※コンセント接触部にほこり等が溜まり火災の原因となります。
- 電源プラグを抜き差しする場合は、必ず電源プラグ部を持って行ってください。
- 電源コードを無理に曲げたり、上に物を乗せたりしないで下さい。
※電源コードの断線や接触不良が発生し、火災や漏電の原因になります。
- 次のような場所での使用や保管はしないで下さい。
 - ①温度が極端に高い場所
(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上等)
 - ②湿度が極端に高い場所
(水気の近く、雨天の野外、ぬれた場所等)
 上記のことが、故障や感電/漏電または火災の原因となります。